



# SMBC日興 Web-IRフォーラム 投資家向け会社説明会

2022年12月10日

株式会社コプロ・ホールディングス  
(証券コード：7059)



**1.コプロ・ホールディングスについて**

**2.2023年3月期 業績予想**

**3.中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）  
「コプロ・グループ Build the Future 2027」**

## 1. コプロ・ホールディングスについて

## 2. 2023年3月期 業績予想

## 3. 中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期） 「コプロ・グループ Build the Future 2027」

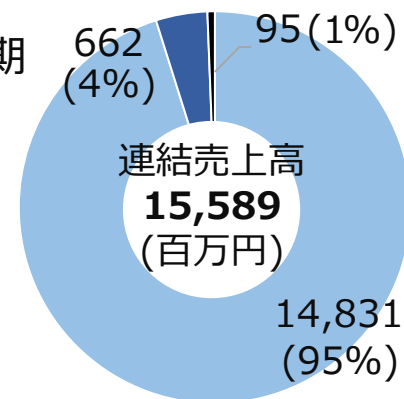
会社名	株式会社コプロ・ホールディングス	
代表者名	代表取締役社長 清川 甲介	
本社	愛知県名古屋市中村区名駅3丁目28-12	
設立	2006年10月	
決算期	3月	
上場市場	東証プライム・名証プレミア	
証券コード	7059	
グループ会社	国内子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)コプロ・エンジニアード</li> <li>・(株)アトモス</li> <li>・バリューアークコンサルティング(株)</li> </ul>
	海外子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COPRO GLOBALS PTE. LTD.</li> <li>・COPRO VIETNAM CO., LTD.</li> </ul>
従業員数	2,377人 (連結ベース、2022年3月末現在)	



代表取締役社長  
清川 甲介

1977年10月16日、愛知県生まれ。名古屋工業専門学校卒業後、地元建設会社にて現場監督を2年経験。大手建設系人材派遣会社で営業を5年経験し、同社の社長を経て、2006年に当社を設立。

2022年3月期  
売上高構成



- 建設技術者派遣
- 機械設計・開発技術者派遣・請負
- システムエンジニアリングサービス

※アトモスおよびバリューアークコンサルティングは22/3期中の新規連結のため、10カ月および6カ月分を計上。

## エンジニアに特化した人財サービス

### エンジニア

- 建設技術者
- 機械設計技術者
- システムエンジニア

当社で雇用し、  
エンジニアとしての  
付加価値の向上



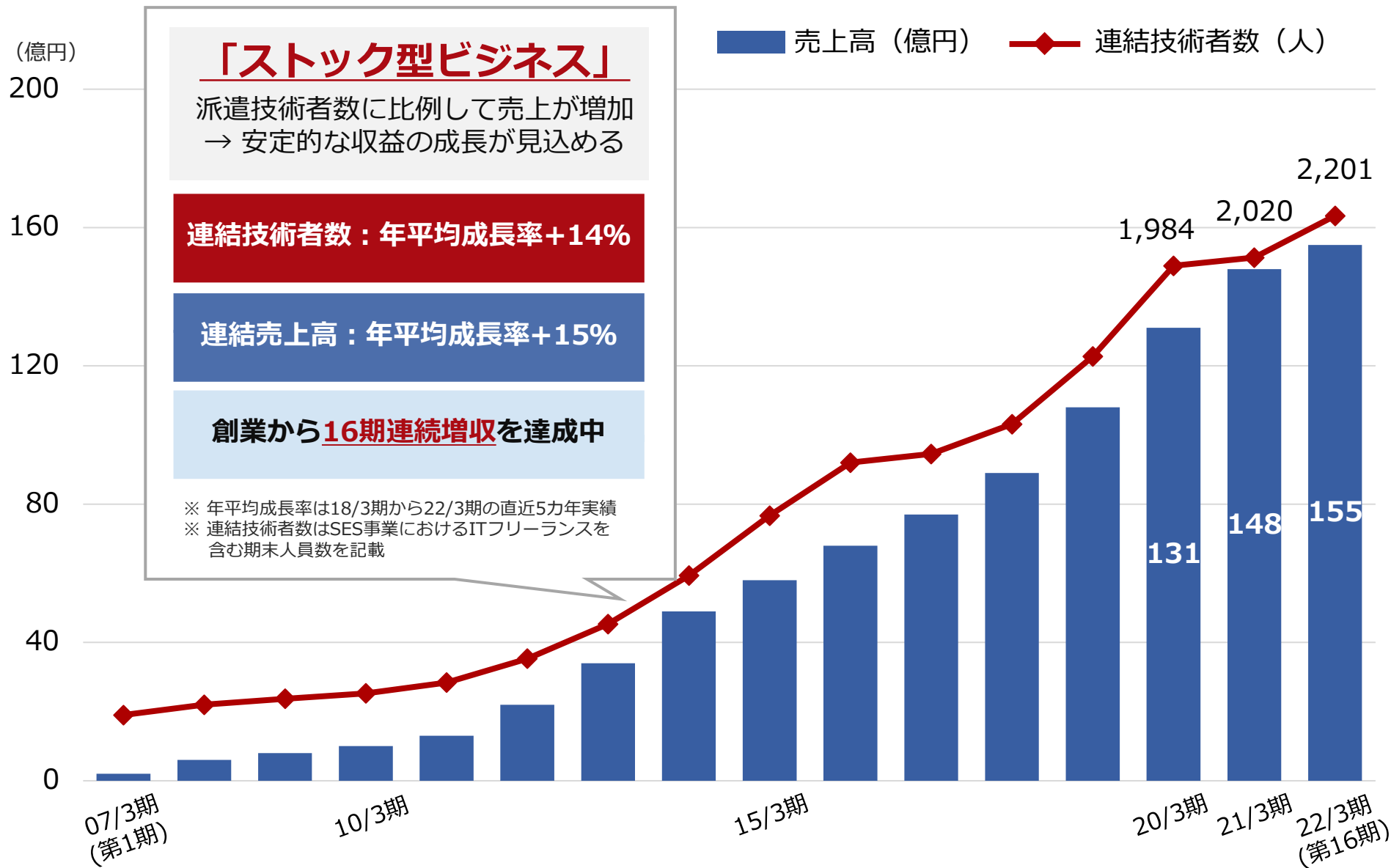
### 顧客企業

- ゼネコン・サブコン
- 自動車・家電等メーカー
- IT・情報通信

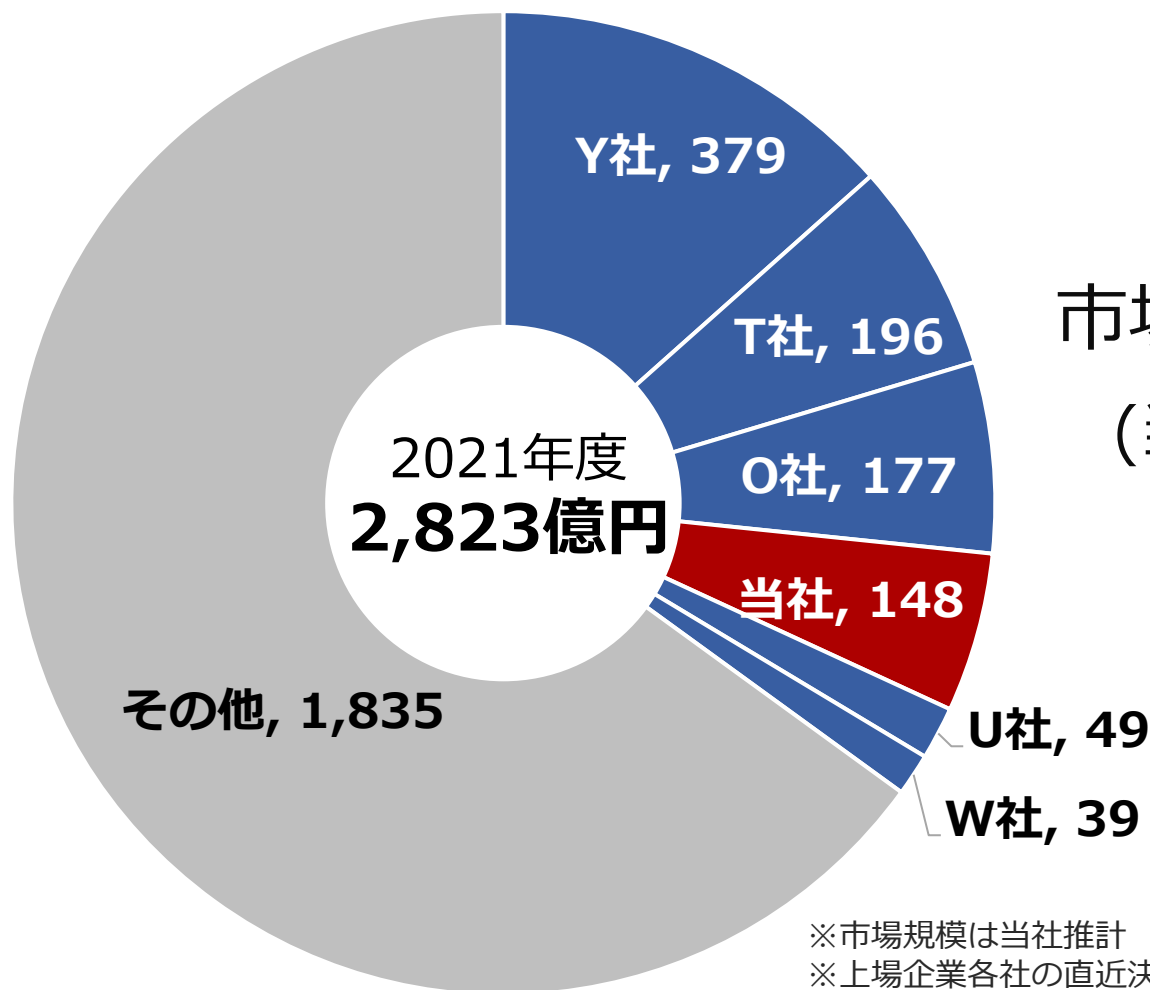
優秀な人財を  
安定的に供給し、  
人財不足を解消



# ストック型ビジネスによる安定成長



## 建設技術者派遣市場規模



上場企業6社の  
市場シェア率は**35%**  
(当社のシェア率5%)

※市場規模は当社推計  
※上場企業各社の直近決算資料より、建設技術者派遣に該当する数値を転記  
※億円未満切り捨て

1.コプロ・ホールディングスについて

**2.2023年3月期 業績予想**

3.中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）  
「コプロ・グループ Build the Future 2027」



- 当期は売上高の伸長、シェアの拡大を優先し、採用費を積極投入

## 建設技術者派遣

22/3期  
中途技術者採用費  
**218**百万円(新卒含む)  
(売上構成比 1.4%)

前期比  
**+109.2%**

22/3月期  
採用数  
**834**人  
(新卒含む)

前期比  
**+80.0%**

22/3期  
期末在籍人数  
**1,995**人

前期比  
**+37.0%**

23/3月期(予想)  
中途技術者採用費  
**456**百万円  
(売上構成比 2.5%)

23/3月期(予想)  
採用数  
**1,501**人  
(新卒含む)

23/3月期(予想)  
期末在籍人数  
**2,733**人

- 採用数の拡大ならびに技術者の定着率改善策が奏功し、技術者の稼働数が計画を上振れ
- 技術者数増加に伴い、売上高・利益ともに業績予想を上回り順調に推移

## 建設技術者派遣

## グループ連結

採用数  
438人

技術者数  
1,978人

売上高  
7,402百万円

Non-GAAP営業利益\*  
721百万円  
(利益率9.8%)

前期比  
**+38.8%**

前期比  
**+18.5%**

前期比  
**+17.1%**

前期比  
**△15.0%**

採用数  
**608人**

技術者数  
**2,344人**

売上高  
**8,670**百万円

Non-GAAP営業利益  
**613**百万円  
(利益率7.1%)

予想比  
**+6.5%**

予想比  
**+43.6%**

※ Non-GAAP営業利益：本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額

- 上半期の予想超過に伴い通期予想を上方修正
- 採用費等の先行投資を継続し2024年3月期は過去最高の売上高・利益を目指す

## グループ連結

売上高  
15,589百万円

前期比  
+17.9%

Non-GAAP営業利益\*  
1,841百万円  
(利益率11.8%)

前期比  
△17.4%

連結売上高  
18,380百万円

期初予想比  
+2.9%

Non-GAAP営業利益  
1,521百万円  
(利益率8.3%)

期初予想比  
+13.9%

※ Non-GAAP営業利益：本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額

2022.11.14

業務提携



copro Engineerd



SpiderPlus & Co.

## 次世代型人財サービス

建設業に対する  
人財派遣ソリューション

技術者の付加価値向上



建設DXサービス  
「SPIDERPLUS」の開発・販売

「SPIDERPLUS」の導入加速

## 業務提携の内容

### (1) 技術者向けに「SPIDERPLUS」に関する研修の実施

- 「SPIDERPLUS」に関する研修を入社時等のカリキュラムに組み込み、実際の建設現場のDX化に対応できる即戦力人財を育成
  - 毎月100名超の新規配属者を対象に運用を開始し、「SPIDERPLUS」を利用可能な技術者を年間1,000名以上創出
- 技術者の付加価値向上による同業他社との差別化、並びに顧客への新規提案による配属人数の拡大、派遣単価の向上を見込む

### (2) 当社顧客に対して「SPIDERPLUS」を紹介

- 「SPIDERPLUS」の導入を支援するため、当社派遣先の企業・建設現場をスパイダープラス社に紹介
- 「SPIDERPLUS」の未導入企業・現場における導入速度の加速を見込む



## スパイダープラス 会社概要

名 称	スパイダープラス株式会社
所 在 地	東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー27階
代 表 者	代表取締役社長 伊藤 謙自
事 業 内 容	建設DXサービス「SPIDERPLUS」の開発・販売
上 場 市 場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：4192）

1. コプロ・ホールディングスについて

2. 2023年3月期 業績予想

**3. 中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）  
「コプロ・グループ Build the Future 2027」**

## 建設業界における労働人口不足

建設就業者数 ※1

1997年度 685万人

ピーク時より△28.2%

2020年度 492万人

**国内就業労働人口は今後も減少傾向**

建設投資額 ※1

1997年度 75.2兆円

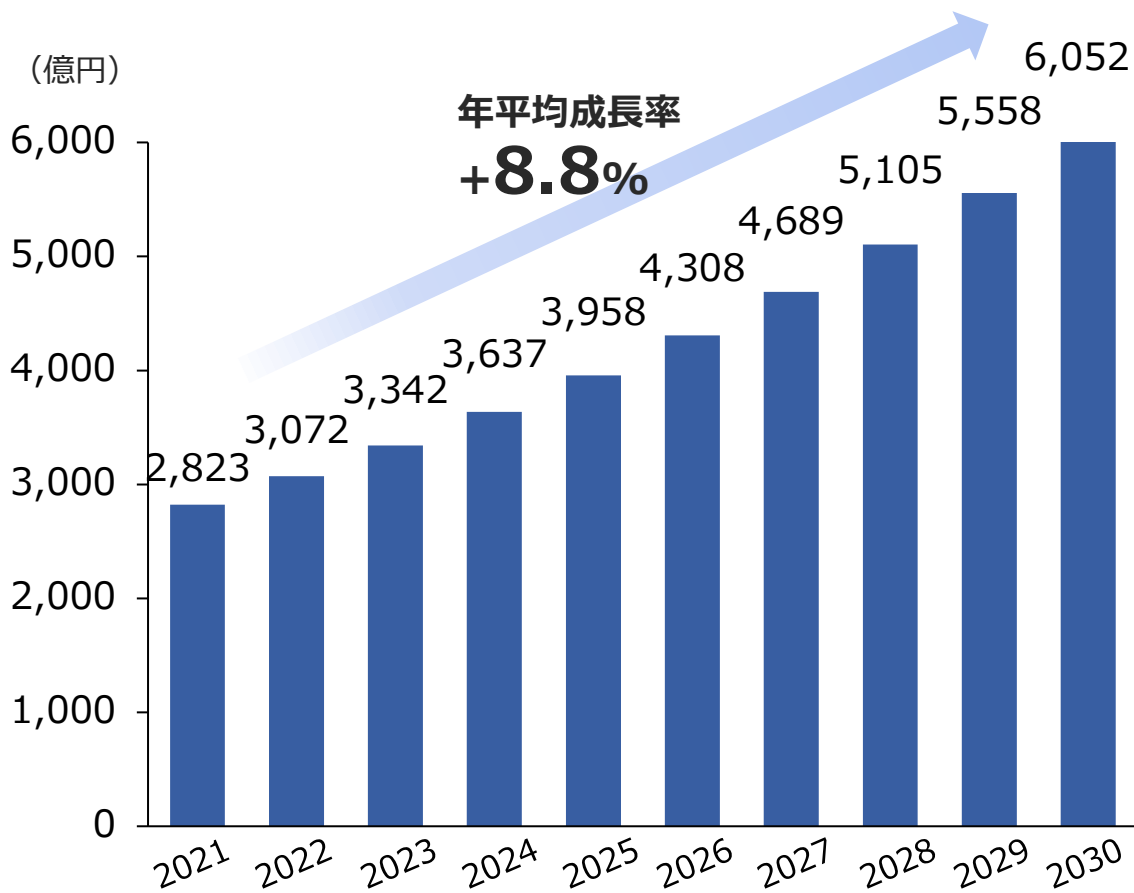
2017年度 61.3兆円

2022年度(見通し) 66.9兆円

**建設投資額は先10年横這いの見通し**

## 建設技術者派遣市場規模の予測

※ 当社推計



※1：国土交通省「令和3年11月 建設業の働き方改革の現状と課題」より

※2：国土交通省「令和4年度 建設投資見通し」より

## 技術者

多様なキャリアパス形成や  
自由な働き方の浸透

## 顧客企業

働き手の不足  
労働環境改善への対応

## 競争環境

技術者・顧客企業に向けた  
差別化が困難

## 技術者派遣市場で求められていること

技術者のキャリア形成支援

最高の働き手の安定供給

コプロ独自の価値創出

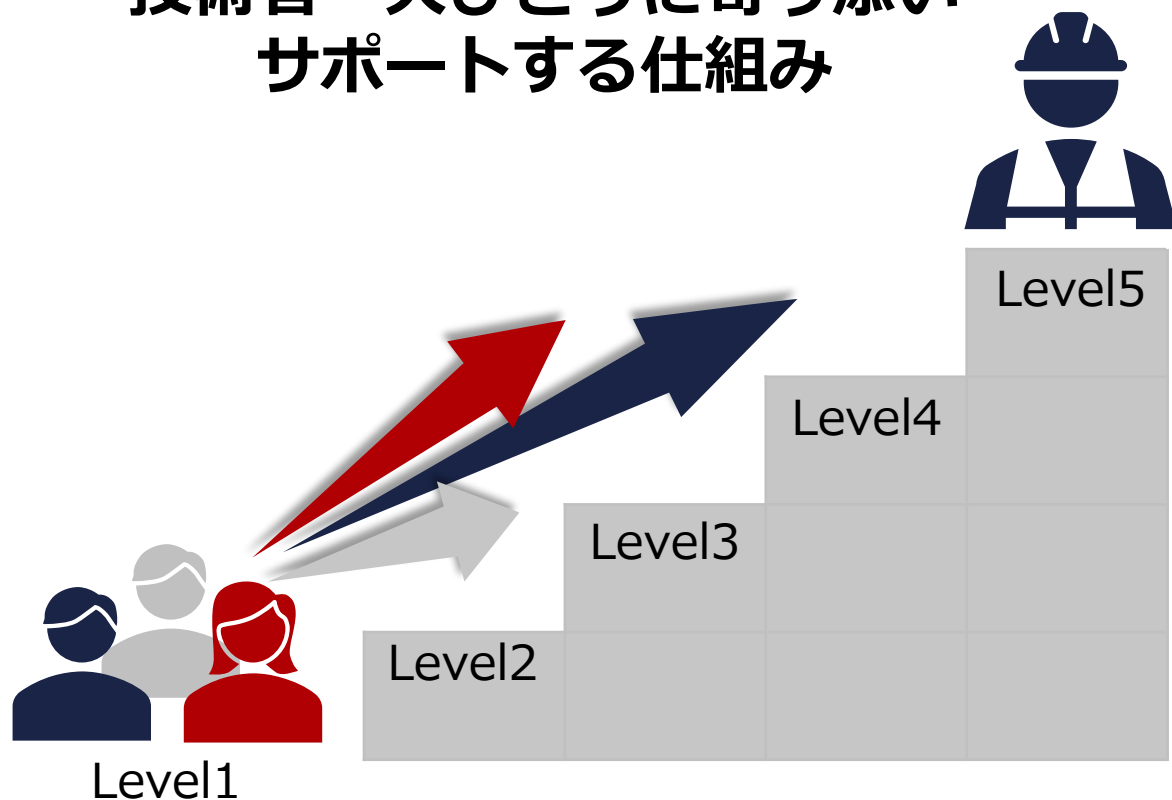
## コプロの提供価値

技術者の多様なキャリアを応援するプラットフォームとして  
エンジニア・顧客企業双方から選ばれる技術者派遣企業となる



- 「エンジニア応援プラットフォーム」の構築により、エンジニア向けに当社独自の価値を提供

## 技術者としてのキャリア形成を 技術者一人ひとりに寄り添い サポートする仕組み



キャリアパス設計・相談

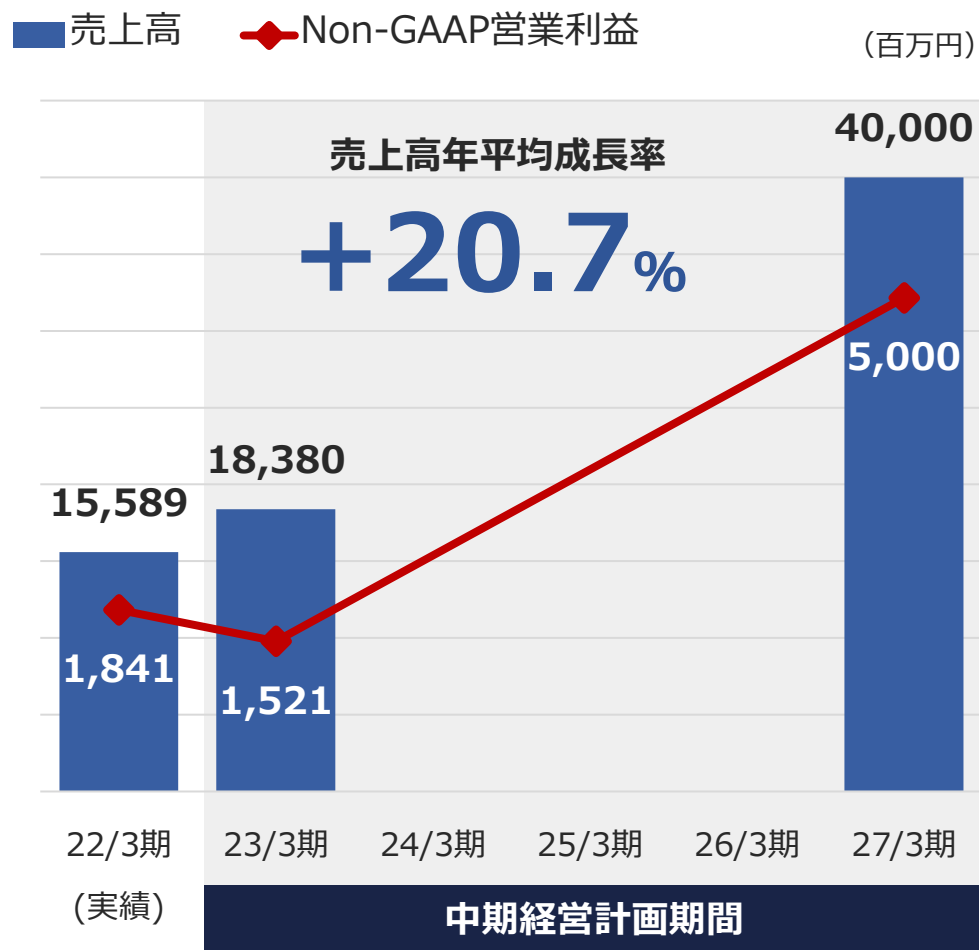
独自の研修プログラム

配属後のフォローアップ

スキル評価・インセンティブ

**優秀な技術者として  
成長を促し、  
彼らの市場価値を高める**

- 27/3期の業績目標は22/3期比で売上高は約2.6倍、Non-GAAP営業利益は約2.7倍に拡大



## 2027年3月期目標

売上高

**400**億円

Non-GAAP営業利益

**50**億円

技術者数(連結/期末)

**6,200**人

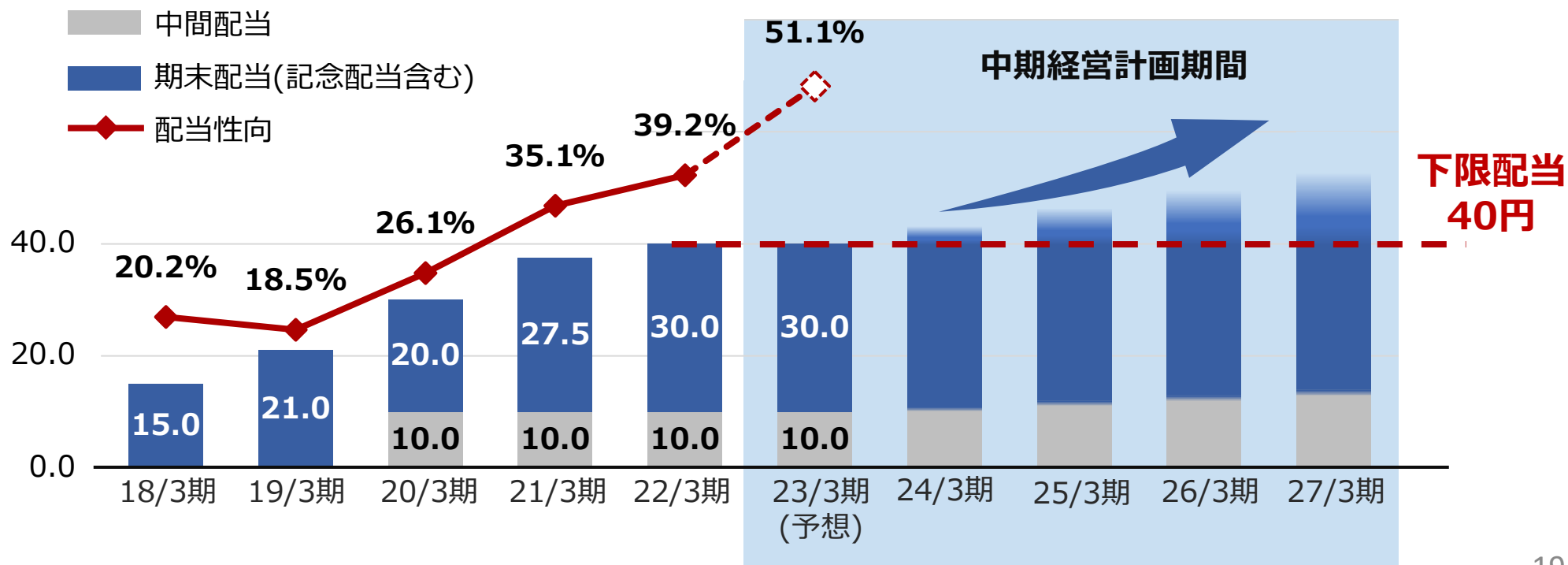
※ Non-GAAP営業利益：本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額

- 中期経営計画の公表に伴い、配当方針を変更

## 配当方針

当社は、経営上の重要課題の一つと位置づける株主還元においては配当を基本とし、中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」の対象期間(2023年3月期～2027年3月期)は減配を行わず、積極的な投資により達成される利益成長に応じて、安定的な配当を行うことを基本方針とします。

## ■ 1株当たり配当金



## 中期経営計画(2023年3月期～2027年3月期)

2022年5月に当社は初めて中期経営計画を発表しました。  
当社IRサイト上に説明資料の全頁、トップインタビュー動画等を掲載しております。

[https://www.copro-h.co.jp/ir/upload\\_file/m002-m002\\_07/Medium-TermManagementPlanFYE2023-FYE2027.pdf](https://www.copro-h.co.jp/ir/upload_file/m002-m002_07/Medium-TermManagementPlanFYE2023-FYE2027.pdf)



インタビュー動画  
視聴用QRコード

## シェアードリサーチ 企業調査レポート

当社情報が集約されており、四半期決算やプレスリリースの内容もタイムリーに反映されます。

IRサイトからもアクセスいただけます。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7059>



## モーニングスター エクイティ・リサーチレポート

第三者機関が発行する当社レポートです。

公平・公正な観点で定量面の情報が掲載されています。

<https://www.copro-h.co.jp/ir/library/other.html>

# (参考) 認知度向上施策 ※2022年12月10日時点

当社グループの更なる認知度向上を目的としてメディア露出を強化。

## 豊田スタジアム (バックスタンド側LED看板)



(広告期間：2021年7月～掲示中)

## バンテリンドーム名古屋 (1・3塁ベンチ内シート看板)



(広告期間：2022年3月～掲示中)

YouTube広告



(広告契約期間：2022年7月1日～2023年6月30日(予定))

<https://www.youtube.com/watch?v=D7oYsHnZjTo>



視聴用  
QRコード



**ご清聴いただき  
ありがとうございました。**



株式会社コプロ・ホールディングス  
経営企画室

<フリーダイヤル> 0120-253-066

※WEBでのお問い合わせは下記当社HPの  
質問フォームにてお願いいたします

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>

スマートフォン  
からも  
お問い合わせ  
いただけます



IRメール配信  
サービスは  
こちらから  
ご登録下さい





- この資料は投資の参考に資するため、株式会社コプロ・ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。